



北海道大学を休学し、半年間、神川中学校跡地利用検討委員会の事務局として働かせていただいた井下友梨花です。

高校2年生の時の父の病気をキッカケに「食」に関心が生まれ、それをとりまく「農業」「環境」「地域」などについても興味を持つようになりました。大学の授業で、農山村地域の「高齢化」「後継者不足」などのキーワードは聞いていましたが、いま思い浮かべることができませんでした。今回、地域に入って働きたいと思ったのは、実際にどのような状態なのかを経験してみたいというのが理由の一つです。錦江町で働きたいと思ったのは、これまでほとんど関わりがなく未知の世界だったからという単純な理由からでした。

どんなところなのかほとんど分からないまま錦江町入りしましたが、初日はちょうど神川校

From young people in the future

# 錦江に生きる

◎このコーナーでは、町内でこれから根を張っていくと頑張っている若者を中心に紹介していきます。今回は、3月まで神川中学校跡地利用検討委員会に所属していた井下友梨花さんです。

## ◎番外編

井下 友梨花さん 【北海道大学三年】



50cc バイクで町内を駆け巡る友梨花さん

底力を強く感じました。この力は都市部にはあまりないと思います。自分たちの地域を自分たちでつくり、守るという考えは、地域を維持する本来の姿勢なのだと感じました。

また、「高齢化」「後継者不足」は現実の問題だということも感じました。「昔はこうだった」「このままではいけない」という話をいろんなところで聞きました。が、その地域らしい時代に即した新しい取り組みが必要なのではないかと思っています。

長々と偉そうなことを書きましたが、半年間、未熟者の私になんとか仕事を続けられたのは、ここでは書ききれないくらいたくさんの方の支えがあったからです。もし錦江町でなければ、泣いて町を飛び出していたかもしれません。これからは、この経験を忘れずにしっかりと自分のものにし、勉強し、地域の力になる人材になれるよう頑張っていきたいと思っています。またいつの日か、錦江町に帰ってきたいです。本当にありがとうございます。

(文：井下友梨花)

## 編集後記

●四月に入り22年度がスタートしました。役場でも職員の間が動きましたが、私は広報担当として4年目を迎えることになりました。まだまだ、未熟者ですが、今年度も頑張ってみますのでご指導よろしくお願ひします。

●人間ドックに行つてきました。基本的にはアルコールを少しだけ控えるだけで問題は無いとのことでしたが、胃潰瘍が見つかりました。「ストレスですね。原因がわかっていますか?」と医者に聞かれ、考えてみましたが思い当たりません。ストレスの原因を探すことにストレスを感じてしまいそうです。

●タケノコ、ジャガイモなど旬の食材が食卓に並ぶと「初物」を味わう喜びで食事も一段と美味しく感じます。ですので、毎年、この季節になると食事が待ち遠しくなるのですが、後半になると味噌汁などの具にタケノコとジャガイモが交互に出てくるのは私だけでしょうか? でも来年になると、また待ち遠しくなるのですよね。



発行／錦江町役場

編集／企画課 〒893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地 tel.0994-22-3032 fax.0994-22-1951

ホームページ／<http://www.town.kinko.lg.jp/> 印刷／(有)南大隅新生社印刷

